

新規採用職員研修会

期日 令和四年五月二十三～二十四日
会場 静岡県総合社会福祉会館
参加者 六七名

昨年はコロナ対策のためオンラインでの開催でしたが、今年度は感染対策をしながら二日間にわたり、集合型研修として行われました。



1日目

講義①は静岡県保育連合会の土山会長による「保育園・認定こども園の使命と役割」というテーマでの講義でした。県保育連合会の役割や各委員会などについて説明があり、コロナ禍で保育を継続する必要がある重要な仕事であること、加速していく人口減少など保育を取り巻く環境の急速な変化への話などがありました。

講義②は静岡県保育士会の吉川会長による「保育者の使命と役割」というテーマでの講義でした。保育士会の組織や役割について、主催の研修では主に「保育の質の向上」を目標に行っているため、積極的に参加し、子どもたちの健やかな成長のために常に学ぶ気持ちを持ち忘れずに保育に取り組んで欲しいとお話がありました。

講義③は小田原短期大学名誉学長・名誉教授の小沼肇先生による「新人保育者の責任とプライドー責任重大!! かわいい子どもたちの人生がー」というテーマでの講義でした。先生自身が体験をした話を織り交ぜながらの、子どもに対する温かい眼差しを感じる内容で、一人ひとりの個性を大切にしながら保育と支援をしていく必要性を改めて気付かされる話でした。

講義④はNPO法人浜松子どもとメディアリテラシー研究所の長澤弘子代表による「SNS利用時の倫理的な判断と行動の重要性について」というテーマでの講義でした。SNSの利用について、社会人として節度を持った使用をしなければいけないこと、情報が独り歩きすること、忘れず、便利さと危険が隣り合っていることを理解して運用すべきと改めるお話しでした。



2日目

講義⑤は株式会社駿河こどものとも社取締役の高林快晴氏による「子どもと絵本」と題しての講義でした。「上質な絵本」の読み聞かせをとおして身近な人と過ごす喜びを感じ

じ、気持ちが通じあい、愛情や信頼感が生まれるというお話でした。

昼食前に実行委員長の中村先生による、グループワークをとおして悩みや疑問を共有し明日からの保育につながる討議の時間を過ごしました。

講義⑥はコーチングネットワーク静岡代表の土方良子氏による「保育者としてのあり方〜服務接遇〜」と題しての講義でした。学生と社会人の違いを認識し、時間を大切に相手に伝わる努力をすること、個人とチームの大切さ、価値観を尊重する姿勢、自分の良さに気づくことで周りの人の良さに気づく、など、社会人として必要な心構えについてのお話でした。最後に「終わり方を丁寧に」ことを忘れず大事にして欲しいとお話をいただきました。

閉講式では実行委員長の中村先生より高い専門性と倫理観を維持するため常に学び続け、今回の研修で得た気づきや学びをすぐ明日からの保育に取り入れ、回りの人に伝える努力をしてほしいとお話しをいただき、二日間の研修を締めくくりました。

